

大使



柳平市長から「縄文ふるさと大使」の委嘱を受ける大久保さん(右)

身もがんや難病を克服した

体験があり、「生かされた者としての恩返し」として

病に苦しんで

いる人たちを

勇気づける活

縄文ふるさと大使に大久保さん

茅野市

縄文を生かしたまちづくりを進める茅野市は15日、茅野や縄文の魅力を発信してもらう「縄文ふるさと大使」を、新しく同市宮川出身の大久保淳一さん(52)に委嘱した。活動中の大使としては10人目。任期は3年。

大久保さんは東京都在住で、がん患者支援団体「5 years (ファイブイヤーズ)」の代表理事を務める。自

動をしている。

「縄文ふるさと大使」がそれぞれに茅野市の思いを伝える「わたしのChino-ni-y」には「茅野から都会ビジネス!」を掲げた。

委嘱式で柳平千代一市長は「活動の中で茅野市のよさや縄文文化の素晴らしさを一人でも多くの人に発信してほしい」と期待した。大久保さんは「ビジネス面で貢献したい。観光都市で四季を感じられる素晴らしい場所。パソコンと電話があればできるとうような仕事を人を連れてきたい」と抱負を話した。

(倉本敦)